

平成29年度協働事業報告会（28年度事業実施分） 質疑応答

「史跡協働管理事業」（市提案協働事業）

（NPO法人鎌倉みどりのレンジャー / 文化財課）

- Q 市がやりきれない所をやってもらおうというだけではなく、市民が関わることによって色々な気づきがあったということがわかり、すばらしかった。史跡の管理を行ったことにより今までやってきたこととの違いがあったら教えていただきたい。
- A （団体）公園でやるよりもはるかに生の自然を史跡では感じる事ができ、そういうものを大切にしようという意識があらわれ、むやみやたらに刈るのではなく積極的に保護しようということになった。
- Q 切通しは状況によっては怪我をしたりする険しい所もある。現場を周っていてこれはもっと頻度を増やしたほうが安全ではないかと感じることはないか。
- A （団体）2ヶ月に一度で十分とは言えない。地元の方が朝比奈切通しの水路の掃除を定期的に行っている。また、横浜市の職員も頂上付近で活動していた。我々だけがやっているのではなく見えないところで近隣の方が掃除しているのを発見し、多くの人たちの協力があって環境の整備がされているのだと感じた。
- Q 参加されている方の年代はどうだったか。
- A （団体）一番若い会員は56歳。大体60代後半。
- Q 地元の大学生、高校生が経験したらよいと思う。次の世代に継承していくとよい。
次世代に向けての取り組みは何かしているか。
- A （団体）鎌倉学園、鎌倉女子大にもボランティアのグループがあると聞いているが、ボランティアの募集をできていない。
今後検討していきたい。